

議会だより



なかさっない



大和田議員



中井議長



宮部副議長



船田議員



福原議員



中札内村議会議員8人の似顔絵ができました!!
(議会活動で活用していきます)



北嶋議員



戸水議員



木村議員

3月定例会

令和7年度予算審査・附帯決議…………… P 2～8

条例制定、補正予算など…………… P 8～9

一般質問…………… P 10～14

第1回臨時会…………… P 15

議会活動

住民参加型予算制度事業、議員研修など…………… P 16

まちなかしゃべくりカフェ…………… P 17

議会広報モニター制度を終えて…………… P 17

お知らせ ほか…………… P 18

『創造的継続』 予算内容を審査

中札内村議会3月定例会

3月定例会は4日に招集され、会期を13日までの10日間とし行われました。

4日に、発議1件と議案11件を審議し、原案どおり可決しました。

再開した7日には、4人の議員が一般質問を行いました。

11日からの本会議では、議案2件を可決した後、13日までの間、新年度各会計予算案6件を審議し、原案どおり可決しました。

一般会計予算に対しては、可決後に宮部議員ほか6議員から附帯決議が提出され、賛成多数で可決されました。

予算審査

令和7年度は、村長改選期であるものの、一般的な「骨格予算」ではなく「創造的継続」をテーマに予算案が編成されました。まちづくりを停滞させないため、住民福祉の増進を図り、継続事業を磨き上げた肉付け予算となっています。

一般会計は、ふるさと応援寄附総額を前年度比4億円減の3億円としたものの、国が目指す自治体情報システムの標準化・共通化に伴う経費や道営事業による牧場施設整備の増加で、前年度比2.0%増の56億8560万円と過去最高になりました。

予算審査における質疑、答弁の主なものについてお知らせします。

一般会計 歳出

●交通安全・防犯対策費

2237万円

★宮部議員

問 住民参加型予算制度のワークショップで、東1条と38号交

差点での事故が多いことが挙げられた。

答 公安委員会などの関係機関と対策について協議等を行っているのか。

中札内の駐在所に相談するとともに、標識等の設置や横断

歩道の対策事例を調査しており、今後、帯広警察署にも相談していきたい。

また、信号機には設置基準があり設置は難しいことから、別の手段がないか模索、研究してみたい。



東1条交差点で事故が多発している

●コミュニティバス運行管理費

1318万円

★大和田議員

問 キッチンスタジオ敷地内にくるくる号のバス停を設置するという話があったと思うが、令和7年度の運行路線には入っていない。

答 バス停設置について、どのように考えているのか。

キッチンスタジオへの乗り入れについては、外構工事が完了していないため、令和7年度は従前通りとしている。

工事完了後に利用状況や除雪状況などを調査し、8年度からの乗り入れについて検討していきたい。

●地方で働き隊員報酬

169万円

★船田議員

問 どのような成果を期待しているのか。

答 この制度がなければ、村とつながらず得なかった若い世代の方に、村に来て実際に住み、働いてもらうという体験をしていただくことで、交流人口が増えていることが成果だと考えている。

●ビューティフルデー参加者報償

12万円

★福原議員

問 ボランティアに近い活動に対してクーポン券を配布するのは妥当なのか。

答 きっかけづくりとしてクーポンを配布し、中札内村で実施している清掃活動について住民に周知すること、対外的には道の駅にきた方に本村の取組みを見ていただく機会とし、少しでも美しい村連合に加盟していることの見える化を図っていきたい。

★大和田議員

問 子どもを巻き込んでやることも大事だと思うが。

答 改めて清掃活動をする意義などもお伝えしながら、ビューティフルデーだけではなく、クリーンなかさつないでも、小中学校への声掛けを行いたい。



一般参加者を増やすことが課題の清掃活動

●ふるさと納税費

1億8115万円

★木村議員

問 ふるさと納税業務の一部を委託し、返礼品のPR強化を行うということだが、具体的には。

答 これまで提携していなかった村内の事業者、新たな返礼品の提供について声掛けをしていく考え。

手間が掛かるという理由で出していない事業者がいた場合は、中間事業者がサポートするなど、寄り添った中で協力いただけるよう進めたい。

●生活支援ハウス改修事業補助金

1080万円

★福原議員

問 入居者が少ない状況にあるが、何か対策を講じているのか。

答 入居要件を緩和する方向で考えている。介護度により制限するのではなく、要介護が付いている介護サービスを利用しながら生活できる状態であれば入居が可能とするとも検討している。

また、改装後の様子が分かるようなりーフレットを作成し、様々な場面で配布していきたい。

★北嶋議員

問 より多く住んでもらえる改修や対策を。

答 元気なうちに、実際に生活支援ハウスを見学し、知ってもらうことも大事だと思うので、改修に当たり内覧会を行うなど進めていきたい。



内部改修が行われるいちげ荘

●移送サービス事業委託

679万円

★木村議員

問 上限の利用回数(120回)では不足という方の状況と今後の対応は。

また、ドライバーの確保について、福祉有償運送サービスや社会福祉協議会で行っている事業で共通する部分があると思うが、連携することはできないか。

答 2月末時点で100回以上の利用者は2名で、昨年度より減少している。多く利用される方から話を聞くことも必要と考えるが、現時点で上限回数を増やすことは考えていない。

内容が類似する事業を一本化できないか検討したことはあったが、ドライバーの連携については検討したことがないので、夢という社協と協議、検討していきたい。

●母子健康保険事業費

1626万円

★戸水議員

問 無痛分娩に対する助成の考えは。

答 現時点では検討していない。ただ、全国的には無痛分娩を進めていく動きや、医療機関での整備、補助制度を導入する自治体も増えていくのではないかと考えている。

ニーズ調査として、母子手帳発行時に妊婦の考えを聞き、どのような出産を望んでいるかを把握しながら、情報収集に努めていきたい。



●有害鳥獣駆除補助金

739万円

★宮部議員

問 ドローンを活用することはできないか。

答 ドローンやGPSの活用については、今後、オープンイノベーション共同事業で研究できないか相談している状況。帯広畜産大学の准教授とも相談しながら、どういった方法ができるのかを検討していきたい。



ドローン等の活用を検討

●元気な農業サポート事業補助金

1351万円

★宮部議員

問 廃プラ処理の対象に運搬費用を含めることはできないか。

答 運賃の部分については、把握していなかったことから、今後に向けて関係者の話を聞きながら、見直すかどうか検討していきたいと考えている。

※次ページへ続く

『継続』 予算と施策について審査



● 第三者農業経営継承者奨励金 600万円

● 農業担い手育成センター交付金 98万円

★ 福原議員

問 必要な支援を行うためにどのように情報収集を行っているのか。

また、商工業のにぎわいづくり起業家等支援事業補助金のように就農者を後押しするような制度はないのか。

答 農業担い手育成センターの活動に加え、外部からの講師等

を招いて情報収集をする中で、今後の第三者継承に向けての対策を深めていきたいと考えている。

新たに就農した方に対するサポートについては、担い手センターで指導農業士を含めて打ち合わせを行い、2ヶ月に1回程度、巡回という形で、アドバイザーやサポートする形を取っていきたい。

● まちなかキッチンスタジオ及び改善センター管理費 9448万円

★ 北嶋議員

問 村外の利用者が多い状況をどう捉えているか。

利用料金に差をつける考えは。

答 将来的には、村外利用者が増えて、村民が利用できなくなる状況が発生するかもしれないとは思っている。まちなかにぎわいの定義は、村民が集うことをベースにしており、村民を優先することになる。

利用料金については、他の公共施設と同じ取扱いで設定しているので、内部で検討しながら進めていきたい。



村内外からの利用頻度が高くなっているキッチンスタジオ

● 改善センター外部改修工事 6500万円

★ 北嶋議員

問 急いで改修する必要があるのか。

答 キッチンスタジオ建設にあたり、外構整備工事後に、改善センターの長寿命化工事を行うことで、年度単位で区切って計画を立て、取り進めると当初から説明してきている。

● 道営担い手畑総事業札内川右岸北部地区負担金 4600万円

★ 戸水議員

問 客土への利用について調査した西札内地区の土質試験の結果は。

答 粘性度が高く、客土としては不向きであり、必要量を採用するのは難しいという結果だった。

過去に客土の土取場として使っていた周辺の地権者から耕作地として使っている畑の下層土を客土として使っても良いという申し出を受け、内部で検討している。

問 事業期間内に客土希望者に対応できるのか。

答 右岸北部地区は難しい状況。札内川左岸、中島地区で土地改良事業を実施する予定で、土の提供ができるよう推進していきたい。

● 多面的機能支払対策交付金 7921万円

★ 戸水議員

問 道路沿いの草刈りを保全会組織でできないのか。

答 草刈りについては、全道の保全会組織から同じ要望が上がっているが、国道、道道、市町村道においては管理者がすべきことを保全会組織が行うことはできないとの見解が示されている。

● 牧場管理委託 2億81万円

★ 宮部議員

問 酪農家数が減る中、現在の預け入れ頭数で推移していくのか不安な面があるが、道営事業による牛舎建設については、どのような考えで進められたのか。

答 飼養頭数については、計画に基づき見込数を出し、酪農家にアンケートを行ったりする中で、道営事業の整備計画を出してきた。現段階で、中長期的な計画は詰められておらず、令和8年度が村の発展方策や酪農肉用牛生産近代化計画の見直しを行う時期となる。今後の状況を視野に入れ、農協とも協議・連携を図りながら進めていきたい。

住民福祉の増進を目指す『創造的

●西札内防災ダム桜公園トイレ解体撤去工事 799万円

★船田議員

問 施設全体を将来的にどのようなしていくのか。

答 トイレは数年前から壊れていて、利用頻度も少ないため、維持経費を考慮し撤去することにしたが、公園自体を閉鎖するわけではない。

東屋の床が傷んでいるという意見もあり、必要に応じて修繕していかねばならないと考えている。

●観光振興事業補助金

2922万円

★木村議員

問 スノーアートヴィレッジの予算を160万円程度に縮小することになった経緯は。

答 天候に左右されること、一日で400万円以上の金額を投じていること、ある一定の成果が出たという認識から、見直しすることとした。

本村にとってはすばらしい観光資源だとも考えており、スノーアートを作成し、やぐらから見ることができるようになるとともに、ドローンで撮影して、映像記録として残し、今後の村のPRに活用していきたいと考えている。

●札内川園地管理費

3301万円

★北嶋議員

問 国立公園化に関する事業を急ぐ必要はあるのか。

答 村民に日高山脈への興味を持つてもらうことを目標に、実行委員会が主体となり活動してきた。国立公園化の記念誌も全戸に配布した。

一方で、村民の意識の高まりについてはまだ十分でないと感じており、活動を今後も継続していくことが必要で、観光協会に100万円の予算を計上している。

また、国立公園エリアで、誰もが使える、利用頻度が高い施設として位置付けられているのは、十勝側では中札内村だけで、少しづつでも整備して体制を整えていくことが必要だと考えている。



PR実行委員会によって作成された記念誌

●住宅リフォーム支援補助金

1500万円

★大和田議員

問 新年度はゼロカーボン推進に重きを置いて事業を行っていく考えなのか。ゼロカーボン宣言した村としての方向性は。

答 これまでは一般財源で賄っていたが、ゼロカーボン宣言をしたことにより道の補助金の対象となる。

今後については、他町村で省エネにつながる電化製品に対する助成の動きがあるので、どのような施策が必要なのか、ワークショップを開催し、住民の意見をいただく中で方向性を検討していきたい。

●とかち広域消防事務組合負担金

1億8791万円

★戸水議員

問 大雪時に緊急出動の要請があった場合、緊急車両は出動できる状態になっているのか。

答 普段から天候状態を確認し、大雪が予想される時には、事前にチェーンなどの装着、庁舎前の除雪をしながら、出動に支障のないように準備している。

積雪量が増え、救急車等の緊急走行に支障が出そうな場合には、施設課と連携し、除雪車の先導によって現場まで行く体制を構築している。

●災害対策費

425万円

★木村議員

問 札幌の厳冬期訓練に参加して見直した点はあるか。

答 外国人居住者等への対応の方針は。外国人居住者等の食料ではアルファ米系が多いが、それだけでは便秘になってしまうという説明を受け、副食の備蓄を増やす必要性を強く感じている。

また、外国人の避難を支援する団体が北海道と防災協定を締結しており、道内市町村であれば、連携して対応してもらえることになっている。行政として準備しておいたほうがよいものもあり、できる部分から実施していきたい。



一晩で80センチ以上の積雪となった2月4日の大雪

※次ページへ続く

『継続』 予算と施策について審査

●高等学校就学支援対策事業補助金 1680万円

★宮部議員

問 入学祝金5万円を今後も継続していく考えなのか。

答 入学祝金については、当面継続する考えである。

経過としては、中学生の模擬議会で、月額1万円の支援金をもう少し出してもらえないかという意見が出されたのを施策に反映したもの。

●上札内小学校70周年記念事業補助金 10万円

★船田議員

問 どのようなことを行うのか。

答 実行委員会を組織して企画している。記念誌の作成、記念式典、祝賀会を計画しており、記念植樹なども検討していると聞いている。

その他、

50周年の時に設置したタイムカプセルの掘起こしも予定されている。



70周年を迎える上札内小学校

●児童生徒用等タブレット更新 2750万円

★福原議員

問 財源として公共施設等整備基金を活用することに疑問があるが、村の考え方は。

答 通常だと備荒資金組合議決事業を活用するが、財源として道補助金が入っていることから活用できない。地方債を借りることもできなくなる。

タブレットはそれぞれの学校に備え付けるというイメージで、一つの財産と捉えたこと、また、教育振興基金は高校生就学支援などのソフト事業を中心に充てていることから、公共施設等整備基金を活用することがベターではないかという結論に至った。

●制服購入費（扶助費）

497万円

★大和田議員

問 5学年分助成するということが、詳しい内容を確認したい。

答 5学年分助成することで、現在制服を後輩に譲っている状況を継続していけるのではないかと考えている。

身体の成長により合わなくなった場合は新たに購入するか、レンタルもできるようにしたいと考えている。

★船田議員

問 ジェンダーレスについて、授業ではどのように取り扱っているのか。

答 今年度は小学5、6年生、中学1年生を対象に、トランスジェンダーの当事者である外部講師を招き、性の多様性の理解、LGBTQについて理解を深める授業を行った。

学校では、性の多様性をはじめ、外見や内面など、性別の違い以外の多様性も互いに認め合おうというダイバーシティ教育に取り組んでいる。

制服の更新を一つのきっかけとして学びを進めていくほか、中学校では制服登校日を設け、多様性を認め合う日として制定するなど、継続的な取組にしていきたい。



令和8年度から中学校でジェンダーレス制服を導入

●学校給食支援事業 2645万円

★福原議員

問 賄材材料費高騰分を村が負担しているが、いつまで行えるのか。

答 食材等の価格高騰分が大きくなってきており、現状、高止まりのところでは落ち着いているため、次年度、給食費の試算をする考え。

国の給食費無償化の動きや他の自治体では無償化を行っているところもあることから、給食費に関しては試算をした上で判断していきたい。

●中札内交流の杜管理委託 2729万円

★北嶋議員

問 サッカー場の一面を常に村民が使えるようにすることはできないのか。

答 少年団や中学校の部活動は河川敷グラウンドを使っている。道具を保管する物置があり、使い勝手が良い状況にあることから河川敷を使っているのが現状。一面を村民が使うグラウンドにしたいかは、指定管理者とも協議していかねばならない点である。

また、大会を行うとなると、4面が必要な場合があり、芝生を休ませなければならぬ。

住民福祉の増進を目指す『創造的



地域クラブ化したバドミントン

子供の人数が減ってきており、指導者だけではなく、近隣町村と合同で進めていかなければならないと思っている。

地域クラブ化も視野に入れながら、段階的に学校の部活動に地域住民の方に外部指導者として入っていただく考え。

ツ、文化活動を支え、皆で展開していくという意味合いで、地域展開という言葉に変わろうとしている。

令和8年度以降は、国が示すように、地域で子どもたちのスポーツ、文化活動を支え、皆で展開していくという意味合いで、地域展開という言葉に変わろうとしている。

基本的な考え方、今後の進め方は。

★船田議員

251万円

●部活動の地域移行



フィットジャーニー等を利用して運動の習慣を

令和5年度の運動教室参加者は実人数で52人だったが、6年度は116人と2倍以上に増えている。

二つ目は4コースの運動プログラムそれぞれで、無関心層の参加者数を応募者総数の20%以上にするという成果目標で、4コース全てで達成している。

二つ目は4コースの運動プログラムそれぞれで、無関心層の参加者数を応募者総数の20%以上にするという成果目標で、4コース全てで達成している。

2つの成果目標を委託料に反映させることになっている。

令和6年度はどのような成果が出ているのか。

★戸水議員

298万円

●運動教室委託

一般会計 歳入

●財政調整基金繰入金

4億円

★木村議員

今年度は財政調整基金を4億円繰入れている予算となっている。

様々な計画を立てながら予算を組んでいると思うが、今後の見通しと村の考え方を確認したい。

4億円まで膨らんだのは、一

つは人件費の増加分が要因であるが、その増加分は普通交付税の算定に含まれていると言われている。

まだ算定がされていない段階なので、普通交付税分はある程度抑え込んだ状態で見込んでいる。

二つ目は自治体情報システム標準化・共通化改修で、導入に対して補助金が交付されるが、運用経費に対する補助金はない。国の地方財政計画では、交付税に算入されるのではないかとわれているが、予測がつかない状況である。

最終的には年度末の3月定例会で、当初繰入分を積み戻すのと、出納閉鎖された後の決算剰余金については、最低でも2分の1以上は財政調整基金に積み戻すという形の財政運営を行いながら、財源を確保していこうと考えている。

介護会計 歳出

●包括的支援・任意事業

1307万円

★大和田議員

認知症サポーター養成講座を開催するとされているが、受講後の受講生同士のネットワークづくりや関わりはどのように考えているのか。

令和7年度に久しぶりの開催になるが、養成講座を講演会方式で実施する予定。

サポーターになった後は、福祉課と話し合いをしながら、活躍の場を見出していきたいと考えている。

令和8年以降は、小団体で活動するために必要な知識や対応スキルを習得できるようなステップアップ研修を企画していけたらと考えている。



一般会計予算で附帯決議案を可決

令和7年度一般会計予算に対する附帯決議が、宮部修一議員ほか6議員から提出され、賛成多数で可決されました。

附帯決議 (要約)

一般会計予算総額は過去最高の56億8560万円となっています。

中札内村の財政状況は令和5年度の実質公債費比率が6.0%と健全である一方で、経常収支比率が86.0%と悪化している状況です。また、基金残高が年々減少しており、令和7年度予算では、特に財政調整基金は4億円を取り崩す予算で大幅に減少する見込みです。特定目的基金もふるさと納税額の減少に伴い積立額が減少する予算となり、今後減少することが見込まれます。

令和7年度の地方債借入額が6億2710万円と前年度比で2億7000万円余り増加しており、地方債残高は増加し、今後の地方債償還額の増加が見込まれます。

議会として、新規事業『介護職等支援事業』を予算に盛り込んでいますが、道外視察研修等の臨時的要素が強い事業は、その実施について再度検討し判断します。

これらのことから、次の事項について十分に配慮し、取組むことを求めます。

1 財政運営

今後、村の財政状況はさらに悪化することが見込まれ、大変厳しい財政状況になることを全職員が共通認識とし、全ての事業費の削減の可能性をもう一度精査することと併せ、財政調整基金の取り崩しと新規地方債の借入を極力抑える財政運営に努めること。

2 公共施設の長寿命化工事及び高額備品更新

公共施設は、建設から期間が経過し老朽化が進んでいること、交付税措置がある地方債の借入を行うことで負担額の軽減を図っている点も理解するが、財政状況を考えると、次年度以降への先送りの可能性を検証したうえで、判断すべきである。

さらに、高額な備品更新においても、早急に更新が必要であるのかを再度検証したうえで執行すべきである。

附帯決議賛否一覧

(賛成○ 反対●)

船田	幸一	○
北嶋	信昭	○
大和田	彰子	○
木村	優子	○
福原	一斉	○
戸水	隆	○
宮部	修一	○

議長以外の議員全員による附帯決議の可決を執行者側も重く受け止めました。

新年度予算の執行にあたっては、議会側にも説明を行いながら進められます。

◎附帯決議とは？

議会等における審議の対象である事件の議決に当たり、付随的に付けられる意見又は要望の決議のこと。

議会としての意見が、可否だけでは十分に表明し尽くせない場合、当該議案等を議決する際、附帯決議を議決し、事実上、議会の意見を表明するもの。

附帯決議は、主たる議決の条件とはみなされず、長等にこれを尊重する政治的、道義的な責務を負わせるにとどまり、法的な拘束力はない。

(地方議会運営辞典より抜粋)

条例の制定・改正

●中札内村犯罪被害者等支援条例
優しく穏やかな美しい村の基盤を強固にするため、犯罪被害者等基本法の趣旨を踏まえ、犯罪被害者等の支援を総合的に推進し、犯罪被害者等が受けた被害の早期回復及び軽減を図ることを目的に、新たに条例を制定しようとするもの。

●中札内村職員定数条例

職員の定年が延長されるが、定年退職者がいない年においても計画的な職員採用を行うことで一時的に職員の増員が見込まれるため職員定数を改めるほか、常勤職員の定数を実数に近づけ定数管理をより実効性のあるものとするため、本村条例の一部を改正しようとするもの。

その他にも条例や協定の改正・変更が可決されました。

議案に関する
審議結果や
賛否一覧は
こちらで
ご覧になれます



基金積立はふるさと応援寄附金の減少に伴い減額 ふるさと納税クラウドファンディング補助金、定住促進補助金で増額補正

会 計		当初予算額	今回補正額	補正後予算額
一 般 会 計		55億7,480万円	▲6,504万円	58億842万円
国民健康保険特別会計		5億1,680万円	2,247万円	5億7,491万円
介護保険特別会計		3億6,700万円	▲926万円	3億8,324万円
後期高齢者医療特別会計		8,170万円	581万円	8,751万円
簡 易 水 道	収 入	2億1,007万円	810万円	2億1,015万円
	支 出	2億691万円	▲800万円	1億9,658万円
公 共 下 水 道	収 入	4億3,616万円	▲1,555万円	3億2,501万円
	支 出	4億7,798万円	▲1,981万円	3億7,363万円

各会計の予算の状況

補正予算

3月4日に、一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、簡易水道事業会計、公共下水道事業会計の6会計の補正予算を審議し、可決しました。

補正内容と質疑の主なものを掲載します。

歳出

●基金積立

・ふるさと活性化基金

▲2000万円

・豊かな環境等創成基金

▲1200万円

・福祉基金

▲1600万円

・食を農業農村振興基金

▲1090万円

・教育振興基金

▲1995万円

ふるさと納税の使い道指定割合の変更に伴い減額しようとするもの。

●ふるさと納税クラウドファンディング補助金 8000万円

『ばん馬とのふれあいプロジェクト』における目標額2億円の達成を想定し、目標額の4割分の補助金を追加しようとするもの。

★木村議員

問 採択したポイント、村として期待している取組みは。

答 十勝地域の象徴である『ばん馬』とのふれあいや馬車に乗って景観を巡る馬車ツアーなどの観光コンテンツを造成し、訪れる方に新しく特別な体験を提供できる点がポイント。

このプロジェクトで今まで以上に中札内村の価値が高まるのではないかと考えている。

●緊急通報システム事業委託

▲77万円

★宮部議員

問 減額となっているが、設置数が減少したと理解してよいのか。

答 昨年9月現在で51台（年度当初54台）が稼働していて、撤去された方、新たに設置された方がおり、実績見込みでの補正である。

●成年後見人等報酬助成

▲34万円

★戸水議員

問 毎年、同じ金額を予算計上して、年度末に減額されているが、身寄りのない方がこの制度を利用したい時に、市町村の申立てで後見を行う時の経費である。近年は利用がない状況が続いている。

答 ●予防接種業務委託 ▲296万円

★木村議員

問 大幅な減額となった要因は。

答 子宮頸がんワクチンの接種率が見込みよりも少なかった。接種回数が決まっており、一人3回分を計上していたが、全国的なワクチンの供給不足もあり、3回目の接種を受けられなかった方がいたことも要因である。

また、4月以降の出生者数が16名ほどで、0歳時に受ける予防接種も総体的に少なかったと分析している。

●定住促進補助金

821万円

定住促進住宅取得奨励金及び住宅リフォーム補助金の申請件数の増などにより追加しようとするもの。

歳入

●牧場使用料

▲700万円

●牧草販売収入

319万円

★福原議員

問 牧場使用料の減額と牧草販売については、関連性があるのか。また、牧草の販売先を確認したい。

答 牧場使用料の減は生産調整等の影響もあり、預託頭数が減少したことが要因である。

牧草販売は、ピョウタン牧区を中心とした草地更新を行ったことで良質な牧草が採れる状況となり、牧草ロール販売を行っている。預託頭数の減少により、想定よりも多く販売できたということは考えられる。

牧草の販売は村内の酪農家に行っている。



新たな収入源となった牧草ロール

村政のここを教えて !!

紙面の都合により、
内容を要約して
お知らせします。
※詳しい内容
(会議録)はコチラ



一 般 質 問

3月定例会では4名の議員が登壇しました。

各議員が質問を行っている様子→



ふな た こういち
船田 幸一 議員

森田村長の今後の村政について

11

YouTube 動画
開始時間

1分25秒～



きたしま のぶあき
北嶋 信昭 議員

有害鳥獣の被害対策について

12

39分18秒～



おおわだ しょうこ
大和田 彰子 議員

- ① まちなかに住民同士が交流できる
拠点づくりの創出を
- ② 香りによる健康被害への対策について

13

① 1時間37分
43秒～

② 2時間12分
26秒～



きむら ゆうこ
木村 優子 議員

公営住宅の空き家対策と住宅施策について

14

2時間24分
18秒～

一般質問 とは？

議員が村政全般にわたり、執行機関（村長・教育長）に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信をただし、あるいは報告、説明を求め、疑問点をただすことです。

年4回開かれる定例会でのみ行われます。



ふなた こういち
船田幸一議員

公約達成の自己評価と3期目への考えは？

村長

一定の成果は感じている 状況を十分に勘案し判断したい

これまでの在任期間中、第7期中札内村まちづくり計画前期基本計画を策定し、各年度の事業を着実に実行してきました。特に、「鉄道記念公園のリニューアル整備」、旧役場庁舎跡地への「まちなかキッチンスタジオの建設」、暑熱対策として小・中学校など「各公共施設へのエアコン設置」については、村民要望への迅速な対応が図られました。教育関係では、本村初の女性教育長を任命し、学校教育や社会教育への改革や発展に継続して努められてきました。

また、村民の期待が高い「ふるさと納税制度」の活用については、近年納税額が減少し残念ではありますが、目的と用途を明確にしたこれらの取り組みに期待が寄せられています。

さらには、日高山脈が国立公園となり、四季折々に触れ風光明媚な幌尻岳が映えるふもとの村、「日本で最も美しい村」を理念に添えた村づくり、まちづくりを期待するところです。笑顔があふれる村は、地域の方々の日々の交流から生まれるものと確信しています。

問

村長としての任期が残すところ3ヶ月余りとなりました。公約の進捗状況と自己評価についてお尋ねします。

答

国の重要プロジェクトとして「地方創生」が掲げられ、全国5割の市町村が「消滅可能性都市」と名指しされ、激しい自治体間競争が始まる中でバトンを託されました。

情報の発信と共有の徹底こそが施策の基本であることを組織に浸透させ、「健康で文化的な美しい村」としてのブランドの解像度の向上に努め、ふるさと納税による財源の確保、医療体制の安定化、農業・商業・観光の持続性強化など、本村にとって重要な政策課題に取組み、生まれ育った古里の活力向上に邁進しました。

2期目はコロナ禍でのスタートとなり、「優しく穏やかな村」をスローガンに掲げ、住民同士が温かく支え合い、成長の喜びを伴う活気にあふれ、力強く未来に進む古里の基盤を強固なものとすべく、1期目につばみを開いたまちづくりの苗を大切に育てました。全体を俯瞰し、未来を見据え、総合的かつ有機的に施策展開することを旨とし、きらびやか

ではありませんが、花々が渾然一体となつて価値を生み出す庭園のような成果が形成されつつあると認識しており、20項目の公約はその一端ですが、それぞれ一定の結果を残せたものと考えています。

12年前に選挙に敗れ、経済的困窮の中で子育てしたからこそ、見えた世界があります。メディアの世界しか知らぬ、政治行政の経験に乏しい者だったからこそ、一般社会や時代にそぐわぬ慣行を批判的に打ちこわし、新しい風を吹き込むことができました。一指標に過ぎませんが、この20年間十勝管内での人口減少率を一貫して低減させてきたことは、住民の皆さま、議会議員の皆さま、そして役場の仲間たちの奮闘と温かい支え合いのおかげであり、心から感謝と敬意を表する次第です。

まちづくりに終わりはなく、だれがトップとなつても停滞なくまちづくりを進められる組織づくりこそわが使命と胸に刻み、今日まで力を尽くしてきました。今回の予算案の内容を見て、確かな手応えを感じています。

問

6月の改選期を迎えるにあたり、3期目村政を担う考えがあるかどうかについて質問します。

答

引き続き村政を担ってほしいとお声をかけていただいています。ですが、さらに4年、私になお村長としてなすべき仕事が残されているのかどうか。しっかりと課題を整理し、様々な状況を十分に勘案し、自らの出处進退を判断したいと考えています。

まずは、新年度における最重要の第1四半期が順調に滑り出せるよう注力する所存です。





きたしまのぶあき
北嶋信昭 議員

有害鳥獣追跡にGPS発信機装着を！農業被害を減らすため

村長

GPSに多額の予算を投じてても成果を得られない可能性が高い

村はエゾシカ対策を講じていますが、地域によっては毎年増加している場所もあります。中札内村は土地が平坦で猟銃を使うことができます。夏場はくくり罠などによる捕獲はできますが、猟銃による駆除はできません。これらの状況を踏まえて、次の点について伺います。

問 有害鳥獣については、毎年質問していますが、農作物被害を村としてどのように捉えているのですか。

答 令和4年度に比べて農作物被害が増加し、エゾシカによる被害額は1790万円程になっています。また、エゾシカの個体数増加によって今後も被害額が拡大する可能性があります。村としても憂慮すべき状況と捉えています。



問 憂慮すべきだと心配するだけで、何か対策を考えているのですか。

答 猟友会の皆さんと一緒に、エゾシカの駆除を行っています。また、くくり罠等の貸付けなど、農家にも自衛策に取り組んでいただく事を実施しています。今後、これらを拡大していく考えです。

問 エゾシカは越冬することから、夏に一時捕獲し、GPS発信機を取り付けて、越冬場所を特定することで捕獲、駆除できるのではないかと思っているのですが。

答 近年、北海道や札幌市で実施した調査では満足のいく検証はできていません。GPS発信機装着及び追跡する費用は1頭当たり100万円にもなります。故障等のトラブルを考慮した上で、どれほどの数のエゾシカに装着する必要があるのかなど、懸念材料は尽きず、成果を得るためには越えねばならぬ大きなハードルが多数あります。

多額の予算を投じてても、成果を得られずに終わるリスクが相当に高いと言わざるを得ません。現時点で把握できているのは、限りなく100万円をドブに捨てる可能性が高いというデータなのです。

問 未だに増え続ける中札内村農業の被害を防ぐために使うお金は、ドブに捨てるものなのでしょうか。

1790万円の農業被害に對して、100万円の投資は安い、高いではないと思いますが。

答 我々の持っているデータでは、エビデンスが得られていません。成果が出ないと思っているものには、1000円たりとも使いたくないというのが、私の考えです。

問 エゾシカは季節によって移動することから、更別村や大樹町などの近隣市町村との連携した取り組みが必要であると考えますが、村はどのように考えていますか。

答 更別村や大樹町との連携事業は、これまでに実施したことはありません。ただ、十勝地域野生鳥獣等対策連絡協議会において、ヒグマやエゾシカなどの有害鳥獣対策会

議を年に2回程度開催し、十



過去10年間の道内エゾシカ生息数（北海道環境生活部より）



おおわ だいこう
大和田彰子議員

まちなかに住民同士が交流できる拠点づくりの創出を

村長 市街地に新たなにぎわいを創出するイベントに取り組む

「人と人を食ってつなげ村民が集う空間」として、待望のキッチンスタジオがオープンし、5月で1周年を迎えますが、まちの新たな拠点となり、中心街が賑わっていきけるよう次の点を伺います。

問 改善センターフリースペースも含め、今後どのような事業を考えられていますか。

答 今年度については、食育サポーターによる各種講話や調理実習、地域食堂、消費者協会による講習会、個人や団体によるお菓子やパン作り等で利用したほか、移住体験交流会、酒蔵「碧雲蔵」とのイベントなど賑やかな動きとなり、嬉しく思っています。

今後、新

たに放課後児童クラブを対象とした料理体験事業や少年団、スポーツクラブとの栄養講習会、またオープン1周年記念事業としてのイベントを企画中です。



フリースペースを使用した
議会主催まちなかしゃべくりカフェの様子

問 改善センターフリースペースについては、無料でだれでも自由に使えることをもって周知すべきと考えます。

答 また、交流の場として飲食もできるような「カップ付き自動販売機」等の設置を検討していただけるのか伺います。

問 引き続き周知に向け情報発信に注力していきます。

答 自販機設置については、フリースペースの利用者が増加傾向にあることから、実現に向けて事業者と協議を進めます。

問 キッチンスタジオは、営利目的での使用はできませんが、今後運営基準を変更する予定はありますか。

答 また、改善センターフリースペースを、チャレンジショップとして誰でも販売ができるよう調整していただけるのか伺います。

同様の設備を持つ管内の施設で、営利目的の利用を許可しているところもあり、今後視察調査を行い、本村に合った運営基準を指定管理者と協議し、4月から営利を目的とした利用もできるよう取り進めます。

また4月以降、加工調理室で製造した製品の試食・販売等を基本に、チャレンジショップ的に利用できるよう指定管理者と調整します。

香りによる健康被害への対策について

柔軟剤や消臭剤などに含まれる香りの成分である化学物質が、周りの人を不快にさせたり、体調に影響を与えたりすることが知られてきました。

香りの感じ方は人それぞれであり、いい香りと認識している方には、なぜこれがいやなのか理解できないかもしれないが、不快に感じている人も多くいるのも事実です。

柔軟剤には、香りが長続きするために、マイクロカプセルを使用している製品が多く、熱や摩擦など外からの刺激でカプセルの膜が破れ中身が放出するため、芳香や消臭作用が長く続く仕組みとなっています。この香りに反応を起こし、頭痛や咳、吐き気、めまい、だるさなどの症状で苦しんでいる人がおり「新たな公害」「香害」ともいわれています。



消費者庁のポスター

問 保育園や学校で、香りに対して敏感と思われるような保護者からの申し出はありますか。

答 保育園では保護者から相談を受けており、改めてお話を聞く機会を設ける予定です。小・中学校では同様の申し出や相談は寄せられていません。

問 全国的に「香害」をなくすための取組みが展開されており、帯広市、音更町、芽室町が啓発ポスターやホームページで注意喚起を促しています。本村もポスターやホームページでの周知など啓発活動が必要と考えますが。

答 「香りで困っている人が世の中にはいる」という現状への理解を住民に浸透させることが肝要です。公共施設での啓発ポスターの掲示、広報誌、ホームページでの情報提供に取り組みたいと考えます。



きむらゆうこ 木村優子 議員

老朽化住宅の解体撤去後の活用は？

村長

公売もしくは小規模な分譲地として活用を検討

本村の公営住宅の空き家戸数は増加傾向となっています。

人口減少が進む中での公営住宅を含む住宅施策について伺います。

問 公営住宅の空き家が増加している要因は。

答 平成15年度までは空き家が少なく、賃貸共同住宅用地を設けることで民間による投資が増えました。19年度に村内の民間賃貸住宅の利用者に対し毎月の家賃に最大1万円を助成する「民間賃貸住宅家賃助成金」を開始したことで民間賃貸住宅の建設がさらに進んだことが、公営住宅の空き家増加の一因となっています。

問 入居率向上のための取組は。

答 即時入居ができる随時公募団地を設けるほか、選考が必要な物件は毎月募集を行い、入居希望者とマッチングする機会を増やしています。

物件の現状が分かる室内の写真をSNS等に掲載するなど丁寧な情報発信に努めています。

また、子育て世帯向けに近年整備した住宅では、18歳未満の同居者一

人につき家賃の減額を設ける等インセンティブを付与しています。

6年度に完成した地域振興住宅「上札内かしわ」は、対面式キッチン、昇降式室内洗濯物干し、シューズクロークや浴室に窓を設置する等、設備の充実を図っています。



上札内かしわの対面式キッチン

問 空き家の有効活用と定住促進策は。

答 一定の空き家があることで、地域おこし協力隊や若者単身世帯、UIJターン希望者などが円滑に入居できており、公的住宅を活用して運営している移住体験住宅も人気で、移住者を受け入れやすい環境が整っている状況です。

問 公営住宅は高齢者の入居率が高いですが、住環境における対応は。

答 浴室、洗面所、トイレなどの段差解消についてはある程度終わっています。

手すり設置など、村の修繕料の中で対応できるものもありますが、介護保険で自己負担1割から3割で設置でき、すでに自分で行っている方もいると思います。

問 人口減少下において公営住宅の管理・運営の効率化が求められますが、住宅の集約や民間賃貸住宅の借上げなど、柔軟な住宅供給についての検討は。

答 令和5年度から10年間の方向性を示す「住生活基本計画」と「公営住宅等長寿命化計画」を策定し、多世代にわたり良質な住環境をつくる取組を行っています。

住宅の集約や民間賃貸住宅の借上げ等については、今後の村内住宅状況の変遷に応じて、計画の見直しの中での検討を視野に入れていく考えです。

問 老朽化住宅の取壊しと管理計画は。

答 今年度は泉団地1号棟と2号棟の解体除去工事が完了し、令和7年度は泉団地2棟と旧地域振興住宅中札内北を予定しています。

市街地の民有地の利用も活発であるため、未利用の村有地は、大規模分譲地ではなく、公売するか小規模な分譲を目指す方針です。



令和6年から7年度にかけ泉団地の解体撤去が行われる

問 大樹町の宇宙関連産業の企業誘致計画に伴う住宅施策の考え方は。

答 ポプラ工業団地や休暇村を企業誘致やオフィス用地としてリストに上げています。将来の展望が把握しきれない面があり、動向を注視しながら必要な施策を考えていきます。

第1回臨時会

令和7年2月19日 開会

会 期 1日

審議案件 報告1件

議案1件

(原案可決)

補正予算

●低所得者支援等臨時特別給付金

1780万円

エネルギー、食料品価格等の物価高騰の影響を受けた低所得世帯に対して一世帯当たり3万円、18歳以下の子供がいる世帯には一人当たり2万円を加算し、給付しようとするもの。

●中札内村商工共通商品券臨時支給事業

1800万円

物価高騰支援のため、村に居住している住民税非課税世帯を除く全世帯に対して、一世帯当たり1万円分、18歳以下の子供がいる世帯には一世帯当たり1万円分を加算して、村商工会商品券を交付しようとするもの。

★大和田議員

問 郵送で配布する理由は。

答 出来るだけ速やかにということと、3回まで配送してくれるなど、確実に手元に届くという点で、「ゆうパック」で送付することにした。

★宮部議員

問 プレミアム商品券ではなく、商工会商品券にした理由は。

答 出来るだけ早期に、商品券を発送し、使ってもらいたいということもあり、商工会商品券を交付することにした。

問 外国人への対応は。

答 雇用されている事業所に連絡し、働いている外国人が中身を理解できるように説明していただき周知を図っていく。



●堆肥化処理施設製造堆肥臨時助成金

585万円

村内で農業を営む農業者が堆肥化処理施設で製造された堆肥を購入する際の負担を軽減するために費用の一部を助成しようとするもので、農業者に対して助成金額を差し引いた金額で販売し、村が指定管理者に一括で助成金を交付しようとするもの。

★北嶋議員

問 希望者には希望どおりに堆肥を販売できているのか。

答 販売価格アップにより、買い控えている方や、他の安い堆肥を購入される方も見受けられ、現在は在庫を抱えている状況にある。各農家には、希望される数量が行き渡っていると認識している。

●修繕料（堆肥化処理施設）

924万円

堆肥化処理施設のホイールローダー一台のエンジンが経年劣化により故障し、早急な修繕が必要なことから追加しようとするもの。

★戸水議員

問 財源を確認したい。

答 指定管理者には、これまで一定の額を食と農業農村振興基金に積み立ててもらっており、積立金（基

金）を使うことで、車両更新等を行ってきた。今回の修繕についても、その積立金を財源にしている。

●運送事業者臨時支援金315万円

燃料価格高騰等の影響を受けている村内運送事業者に対して、安定的な物流の維持、確保を図るために、北海道が実施する補助単価の2倍を基準額として上乗せ支給しようとするもので、事業者用自動車1台当たり2万8000円、被けん引車1台当たり1万2000円の支援金を交付しようとするもの。



住民参加型予算制度事業内容について

令和6年度に実施した住民参加型予算制度。公募、無作為により参加していただいた村民と議員が村の課題解決に関するアイデアを出し合うワークショップを3回実施しました。その中で選定された事業が令和7年度に予算化されました。

介護職等の奨学金償還助成

人手不足が顕著である介護職、保育士等の人材を確保するために、奨学金を返済している介護、保育現場等に従事している者に対して助成を行う。（事務系職員を除く）

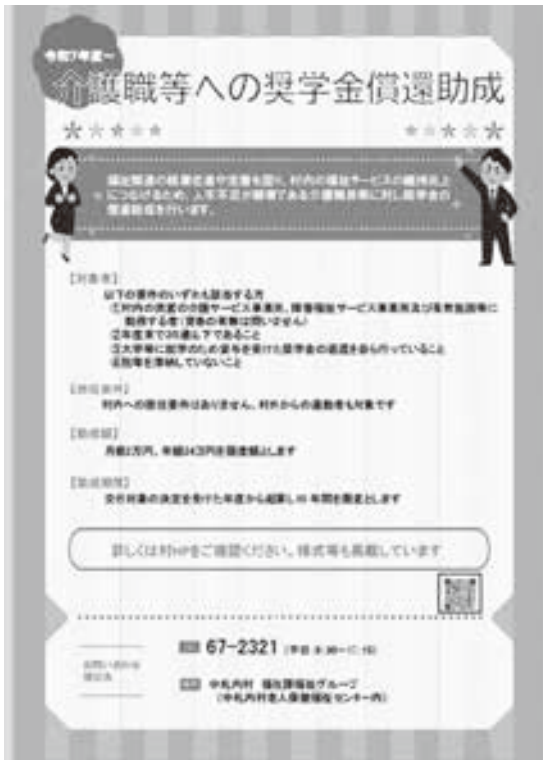
・対象者

村内の介護サービス事業所や保育施設等に勤務する35歳以下で、自ら奨学金を返済している者。

・助成内容

助成期間は最大10年間。
月額2万円（上限）
※会社等から助成がある場合は差額分を支給します
※新規受付は当面5年間
予算計上額は200万円

令和7年度はこの事業の
執行状況と検証を行います。



議員研修・行政視察対応

中札内村議会議員研修会



地球温暖化の課題について学びが多い講演会でした

2月7日に村議会主催の研修会を開催しました。
講師には元所沢市議会議員の桑畠健也氏をお招きし、『地球環境通と言われるための講座』ゼロカーボン編」と題し、講演をいただきました。
研修会には、本村議会議員のほか、南十勝町議会議員の皆さま、村民及び村職員など多くの方にご参加いただきました。

視察来村

江別市議会（公明党派5人）、中標津町議会（総務経済常任委員会7名＋議長）が来村されました。

◆江別市議会

SIBを活用した運動教室委託業務導入の経緯及びフィットジャーニー事業、結婚生活支援事業導入の経緯や実績について視察されました。

◆中標津町議会

ふるさと納税クラウドファンディングや中間事業者の選定理由や選定の経緯、地域おこし協力隊インターン制度導入の経緯と効果について視察されました。



中標津町議会の皆さんと



しゃべくりカフェ

まちなかしゃべくりカフェ



1月30日に改善センター
フリースペースとまちなか
キッチンスタジオで議会カ
フェを開催しました。
約40名の方にお越しいた
だき、ざくばらんに楽し
くお話しすることができま
した。
村議会としては、今後も
皆さんの声を聞くことがで
きる機会を設けたいと考
えておりますので、その際
はぜひご参加ください。
また、団体の集まりがあ
るから来てほしい！などが
ありましたらお気軽にお声
がけください。

【参加者からの意見】

- ・電話による詐欺への対策
- ・堆肥価格高騰への対策
- ・イベント情報発信の一元化
- ・キッチンスタジオでのふるさと納税返礼品の開発
- ・新しい分譲地の整備
- ・部活動の地域移行について
- ・体育施設の使用について
- ・開村80周年事業について
- ・学校開放における情報共有
- ・ヘリポートの整備
- ・結婚支援について
- ・村内マップの作成について



ほかにもたくさんのご意見
をいただきました。
ありがとうございました。

第2期議会広報モニター制度を終えて

いしばし なおあき
石橋 尚晃 さん



「回を重ねるごとに良くなる議会だより」
毎回そう思いながら拝読しておりました。
広報モニターとして参加させていただいた
ことにより、普段じっくり読まない議会
だよりに細かく目を通す機会が増え、今
の行政に対する関心・興味が従来よりも
深まりました。
また、普段交流のない村民の方と直接お
話できたこと、議員の方との交流は私
にとって大変貴重で嬉しく感じました。

くぼ あやこ
久保 綾子 さん



議会広報モニターに参加するまで、
恥ずかしながらきちんと内容を読ん
だことがありませんでした。
この機会に広報に目を通し、議会の
YouTube も見るようになり、村政に関心
を持つことができました。
良い経験及び大変勉強になりました。
ほかの村民の皆さんも機会があれば、ぜ
ひ参加していただきたいと思います。

第2期議会広報モニター制度は2年の実施期間を終え、広報モニター
8名の任期が終了しました。ご協力いただいたモニターの方々の皆さまには心
より感謝申し上げます。
モニター2名の方と広報委員の感想を掲載します。

知識も経験もない広報委員として不安と戸惑いのなかで「議会
だより」を作っておりますが、広報モニターの皆さんの指摘や
意見は大変貴重なものばかりでした。フォントやレイアウト、色、
写真といった外形的なものから、記事の中身や表現、文章構
成といった内容面まで多くの意見を頂きました。かなりマニアッ
クなものや議員としての所信を求められたことも(笑)
より読みやすい広報は、議会への理解になり議会活動の活性
化にも繋がっていきます。今後もより読みやすい広報づくりを目
指し精進して参ります。2年間ありがとうございました。



ふくはら かずよし
福原 一斉 議員



次の定例会は6月です！

日程がきまりましたら情報無線やSNS等でお知らせします。

どなたでも傍聴できますので、気軽に議場へお越しください。

議会中継はYouTubeでも配信中です。

「中札内村議会」で検索するか、QRコードからアクセスできます。



議会中継(録画版)もチェック!!

3月定例会

3/4 定例会招集日
条例改正・補正予算など



3/7 一般質問



3/11 予算審議1日目



3/12 予算審議2日目



3/13 予算審議3日目



帯広ふるさと会に参加！

3月8日、帯広・中札内会に参加しました。会員の皆様と情報交換をしながら親睦交流を図り、楽しい時間を過ごしてきました。



「香害ってなあに？」パネル展

場所：中札内文化創造センターエントランスホール
日程：5月14日から6月2日まで

3月定例会で大和田議員が一般質問で取り上げた「香害」(本紙P13)について、知る、調べる、考える、想像することを目的にした参加型パネル展が開催されます。

この機会にぜひ足をお運びください。



(主催：CSコミュニティー十勝帯広、共催：中札内消費者協会、後援：中札内村、中札内村教育委員会)

議会公式Instagram

ぜひフォローをお願いします!!



◆編集後記の内容について◆

第177号では、広報モニターさんのご意見を参考に議員の日常について北嶋議員に書いていただきました。表題を「議員のひとこと」とすべきところ編集後記のまま掲載してしまい内容がそぐわない形となりましたことをお詫びいたします。

議員のひとこと

令和2年度に村議会に関する村民アンケートを行いました。議会制度を維持していくためにはどうすればよいかという問いに、①村民の村政への関心を高める、②議会の役割を村民に広く知らせるという答えが続き、ほとんどの方が議会の情報は「議会だより」から得ているという結果でした。そこで議会活性化の取組として、情報発信の強化と議会だよりの充実を目指し、令和3年度から「議会広報モニター制度」を導入しました。

実施して4年。広報モニター15名の方から議会だよりの内容やレイアウトをはじめ、議会活動についても沢山ご意見をいただき、できる限り反映してきました。住民の方からは「議会だより、分かりやすくなった」という感想や、他自治体議員の方から「中札内村議会、活発に動いているね」と声をかけていただくなど、少しずつ手応えを感じているところです。

今後は、「議会広報モニター制度」から、「議会モニター制度」の導入へと歩みを進める検討を行い、7年度は、5年ぶりに議会村民アンケートを実施する予定です。村民の皆さまには何卒ご協力いただきますようお願い申し上げます。

前回と比べて、村議会に関する意識に変化はあるのか、議会活性化の取組がどう評価されるのか、結果を見るのが、正直、怖くもあり楽しみでもあります。

(木村 優子)

〈広報委員〉

木村 優子
戸水 隆

大和田 彰子
福原 一斉